

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2015.5.11		
所属学部	工学部		
所属学科・専攻	建築学科	学年	4年生

1. 留学先について

留学先大学名	University of Cincinnati			
留学先所属学部等	DAAP			
留学期間	出発日 2014.8	入学日	修了日 2015.5.2	帰国日 2015.5.5
住居	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート等 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()			
	通学時間	20分		<input checked="" type="checkbox"/> 大学の紹介・あっせん
	通学方法	徒歩・シャトルバス		
	部屋のタイプ	<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> (3)人部屋 <input type="checkbox"/> 共同スペース有 () <input type="checkbox"/> 無		
食事	自炊 60 %	学食 %	外食 40 %	その他 % () * %で記入してください
保険	海外旅行保険(名称)	OSSMA		
	大学指定の保険(名称)	OSSMA、UC Health Insurance		<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入
	その他			
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)			
	成田	⇄	シカゴ	⇄ シンシナティ

2. 留学にかかった費用について

総費用	1,500,000	円	* おおよそでかまいません。		
出処					
自費	<input checked="" type="checkbox"/> 貯金 160,000	円	<input type="checkbox"/> アルバイト	円 <input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親 1,100,000	円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円 <input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input type="checkbox"/> JASSO	円	<input type="checkbox"/> その他名称()		円
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金 240,000	円	<input type="checkbox"/> その他()		円

2-1. 財政管理の方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 200,000	円	<input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード 200	<input type="checkbox"/> その他()
留学中	<input checked="" type="checkbox"/> 海外送金	<input type="checkbox"/> キャッシング	<input type="checkbox"/> その他()	

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	1000\$、クレジットカード
住居にかかった費用	Fallsemester-2550\$, Springsemester-1450\$
その他	

2-3. 内訳 * 外貨と日本円に換算した金額を両方記入してください

費目	外貨金額 (1ドル119円として換算)		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	¥	300,000	300,000	円
海外旅行保険	¥	100,000	100,000	円
OSSMA	¥	30,000	30,000	円
査証・在留許可証				円
住居	\$	4,000	476,000	円
食費	\$	300×9=2,100	249,900	円
通学に要する交通費	-	-		円
教科書、教材費	\$	300	35,700	円
その他大学に支払った経費	\$	1062×2=2124 学内保険	252,756	円
光熱費	-			円
その他 (通信費)	\$	26×9=234	27,846	円
その他 (Social)	\$	100×9=900	107,100	円

3. 学業面 *必ず留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ex. 正規、聴講	単位数	単位認定の有無
1 INTRO JAPANESE CUL	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
2 HIST THEORY CITIES	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
3 FOUND ACAD READ/WRI	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4 SUCCESS ACAD ORAL	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
5 RACQUETBALL	正規	1	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
6 INTRO MOD ARCH DES	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7 ART APPRECIATION	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
8 ARCH STUDIO 3	聴講	6	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9 INTRO GEOG INFO SYS	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10 TECH PRO 1-AND LAB	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
11			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

<https://webapps2.uc.edu/scheduleofclasses/>

上記のサイトから該当する学期及び学部などを選択し授業科目を選択する。

また、Prerequisites が必要で授業登録ができない場合には、個別に先生にメールを送り許可をもらい、サインをもらえば授業登録できる。授業登録期間や方法は千葉大のそのものと類似。

3-2. 授業内容、方法に関して

千葉大学の授業とは違って、週2回、3回が一般的。語学の場合は月一金の週5回の授業である場合もある。授業の大半は能動的な参加を要するもの。千葉大学にはない学部もあるため、ユニークな授業をとることもできる。

3-3. 語学力について

ネイティブがほとんどの授業をとることになる。

語学力に自信がない場合は、ESL(English Second Language)という、インターナショナル学生のための英語授業をとることをお勧め。個人的に、Writing 授業は、レポートの基本的な書き方について学べたのでよかった。

3-4. 図書館など学内施設について

Langsom Libraryには24時間オープンなComputer Labがある。また、テスト期間中には図書館全体が約1週間程度24時間運営している。

+DAAP図書館に行ってみることをお勧め。キャンプ場のような雰囲気のある場所がある。また、世界各国からのSnow globeも見ることができる。

校内施設でもっとも有名なのはCampus Recreation Center。アメリカ国内でNO.1のStudent Recreation Center として選ばれた。Climbing wallなど優れた施設と、Yoga,Zumbaなどのフリークラスも存在する。

3-5. その他

4. 生活面

* 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。書ききれない場合には別紙等に続けてください。

4-1. 住居について

学生寮の締め切りが早いので、学生寮の希望者はなるべく早く申し込むこと。

UCはよる8時以降に学校で運営する無料シャトル、Night Rideがある。学校から2マイル以内のところならタクシーのように目的地まで直接送ってもらえるので大変便利ではあるが、言い換えれば夜はとても危険。学校内の学生寮なら安心して帰れるので便利だが、キッチンがない所が多い。(多数の学生寮が存在。Facilityについてはホームページにアップされている。)

学校との距離も大事だが、UCはシャトルバスを運営しているため、シャトルバス亭との距離も考えたほうがいい。

UCはCo-opというインターンのような活動が必須とされている学科がある。1学期くらい学校を離れる学生が多い為、ほかの人にSubleaseをあげる。家具をそのまま使えるし便利なのでお勧め。(フェースブックのページもあり。)

4-2. 食生活について

外食費は高い為、自炊をおすすめ。学校の近くのスーパーはEdward Center近くのKorger'sがある。しかし、隣近所が裕福ではないため、食材の新鮮度が落ちている、と言われる。車がある友達にたのんでWhole Foodなどに行くことをおすすめ。

アジアフードマーケットはCamが有名。距離はCamより遠いが、Jungle gymという世界各国の食べ物を売るところがある。

+とくに店の外や中に貼られてはいないが、曜日によって半額の店もある。(Keystonでは月曜日Mac&Cheeseが半額だった。BWWでは火曜日と木曜日、Wingsが半額。等)

甘いものが多く、お菓子類がやすいので、健康には注意すること。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

携帯電話は留学生5人でファミリープラン(T-mobile)で加入し、月税込26ドルを払った。日本のアイフォンは海外で使えないため、新しく機器を買わざるを得ない。SIMが入るスマートフォンの機種があれば携帯プランに加入するだけでよい。ただし、4Gなどの繋がりがよろしくない。Verizonの方が性能・ネットの速さ面ではいいが、価格が安いのはT-mobile。

学校にSecure Wirelessが通っている。IDとパスワードはUCからもらったIDとパスワードと同一。

4-4. 服装について

自由。おしゃれをしているのはDAAP(Design, Architecture, Art and Planning)やCCM(College of Conservatory Music)くらいかも。他はスポーツウェアで登校したりするなど自由。化粧をしてない学生も多い。

4-5. 健康管理について

シンシナティは日較差が大きいので風に注意、また、ジャンクフード以外に野菜などの栄養も気を付けること。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

UCのHealth Insuranceは必須項目。OneStop>Billing,Payments&Refunds>View/Pay My Bill で毎 Semester 払うこと。学費もBill上出ているが、Insuranceの金額だけ払えば良い。自分はOSSMAの保険に加入した。

4-7. 課外活動について

校内サークルのなか、JASS(Japanese American Student Society)をお勧め。日本に興味がある学生が集まったため、好意的。2週に1回の活動だが、強制ではない。

自分はBible Studyに参加していた。このほかに、アメリカの文化についてディスカッションするグループもあった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

UCは学生イベントが多い。野外映画会や、キャンプなど。インターナショナル学生向けのイベントもあるので興味ある行事にさんかしてみること。

自分はバイブルスタディーグループのメンバーと仲良くなった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

ノート、消しゴム、ペン、冬服、化粧品(アメリカの製品は強すぎて肌があることがある。)、サングラス、日本のお菓子

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

英語の文法の本

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

自分の気持ちや意思表示をはっきりという。積極的。
自分の専門に対する自信と熱情がある学生が多かった。しかし、「共同体の中での自分」という意識はひくかった。教育環境の違いによる差だと思う(同じクラスに一日座っている日本の高等学校と、自分が学びたい科目を選択し教室を毎時間変えるアメリカ。)
日本では明確に存在する先輩・後輩関係がアメリカでは強くない。年に関係なく友達関係になれる。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

アメリカは日本にくらべて休日が多い。インターナショナル学生向けのグループに入れば、日帰りの旅行などの企画に参加できる。(自分が入っていたのはInternational Friendship Institution)カヌーを乗りに行ったり、電気を使わないで生活するオミッシュの村にいたりした。

Megabusは早く予約したら10ドル以下のチケットを買うこともできる。

冬休み、春休みには飛行機やバスを利用して旅行することをお勧め。

自分はSeattle, Sanfrancisco, Los angelos, Las vegas, Orlando, Chicago, New york に行った。ホステルを利用すると低額で旅行できる。飛行機はなるべく早めにとること。

その他

UCはCCMという音楽学部が有名。学生無料のコンサートや演奏会が多いのでお勧め。特に、ミュージカルなどはブロードウェイに匹敵するくらい。

フライトのチケットはなるべく早めに取りましょう!(特に渡米時のチケット)

5. 報告

5-2. 留学先大学について

University of Cincinnatiは、アメリカの中西部に位置するOhio州Cincinnatiに位置しています。DAAP(Design, Architecture, Art and Planning)と、CCM(College Conservatory of Music)の二つの学科が最もレベルが高いと言われています。学生主催のイベントが多く、留学生向けのイベントも開催されていたので、週末や休日なども楽しく過ごせるようです。英語に関しては、鉛がほとんどない標準の英語を使っています。また、留学生が多いので、差別もほとんど見られません。治安がいいとは言えない環境でしたが、暗いとき一人で歩かないようにするなど常に身の安全を考え行動したので大丈夫でした。

5-3. 留学中の様子

はじめて自分以外二人の女の子とルームシェアをしました。また、ほかの9名のハウスマートがいる、「パーティーハウス」というニックネームの家で暮らしました。シングルルームよりやすかったためシェアルームにしたのですが、生活パターンが違っていたため、苦労しました。また、キッチンなどのばしょで自分が使った後掃除をしない人が多かったため、学期末に近くなるにつれ、汚くなっていました。自分は朝早くでて、夜はナイトライドをつかって帰る日常でした。

冬休みではアメリカ国内の旅行をしました。自分はテスト週刊の前の週にすでに授業がすべて終わったので、はやくに出発できました。(Thanksgivingday, Readingdayなど、学校の授業のないひがあります。早めに予定を把握しているんなところを旅行するのをお勧めします。)

学科活動のなかでよかったことは、千葉大学ではみられなかった授業を受講することができたということです。UCならではの授業をとりたいという気持ちから、CCM(College Conservatory of Music)学部のIntro Technical Productionを受講しました。この授業はCCMの演劇、オペラ、ミュージカルなどの講演に必要な大道具を直接つくる授業でした。自分が建築学科を選択した動機がなにかをつくることに魅力を感じたからであったため、面白いと感じました。特に、日本での設計授業が1/100の模型をつくることだったとしたら、この授業では実寸大のセットを直接作ったので、木材の切り出しから始め、物が出来上がるまでの過程をみれて良かったです。

5-4. 留学希望者へのアドバイス

留学中に、少なくとも落ち込むことがあると思います。

高学年になるほど、自分が自分自身に期待する基準が高くなると思います。ですが、新しい環境、慣れてない言語の環境に行く時点で自分が今まで当たり前でできていたことができなくなります。とくに、周りに迷惑をかけないように教育されてきた日本人にとっては日々謝ることばかりの生活かもしれません。

こういった時に、自分ができないことを考えるより、自分に今できることを楽しくしてみるのをお勧めします。留学先で、新しいレストランにいったみる。公園に出かけてみる。など、些細なことでも、日本では味わえない新しい体験になると思います。

そして、言語に対するハードルを下げましょう。外国に10年以上暮らした人も、すべての言葉を理解してはいません。言葉には熟語など、文化の要素も交じっているため、ジョークなどとても理解しがたいものもあります。語学勉強だけで外国での貴重な経験を見逃さないようにしましょう。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

アメリカで学んだこと、見つけたことは、大きく二つです。第一は、アメリカの学生の学業に取り組むマインド。第二には、美しい建物を建てたいという夢です。私いた学校の建築学科は、本当に建築が好きでなければいけないところでした。特にスタジオレッスンは、週に3回、3時間半の授業でした。恥ずかしいことですが、自分の分野にたいする情熱が足りなかった為か、私も最初の1週間で絶えられずやめてしまいました。その後、学科の勉強よりは、多くの人々に会って彼らの話を聞くようになります。そのなかには複数専攻の学生も、副専攻として他の学科の科目をとる学生もいました。3年次編入だけで可能な日本とは異なり、学期ごとに他の学科に転科することができるシステムでした。そのような学生から、少し卒業が遅れるけれども、本当に自分の道を見つけているように見えました。また、アメリカでは、コープという制度があります。会社でのインターンを1学期として認めてくれる制度です。特に建築学科の学生は必須で、このプロセスを通して、学生は学校での課題や勉強だけではなく、実際の職場で何が必要なのかを学びます。このことをみて、私も明確とした理由をもたず大学院にすすむよりは、卒業後は仕事につくか、インターンを経て、自分が本当に必要とする能力が何かを学びたいと思います。そして、必要性を感じたあと修士課程へ進みたいです。

自分が熱情をもってできること、について考え続けました。そして、美しい建物を建てたいという夢を持つようになりました。休暇期間中に建築を中心に多くの都市を旅行しました。シアトルでは、レム・コールハースのシアトル図書館を見て、飽きない空間である同時に明確なスペースの区分と、日照率などを考慮した構造の関連性がいいたと思いました。サンフランシスコの科学館では、レンゾ・ピアノの自然に優しく、将来的な意匠が新鮮でした。所々に散々されているカテドラルから、スペースの美しさや光の美しさについて考える機会となりました。そして、人に感動を与える建物を建てたいと思いました。自分はザハ・ハジドの有機的な建物より、サンティアゴ・カラトラバのような構造美をより魅力的だと感じました。日本にもそのような建物を建ててみたいと思いました。これからもおおくの建物の事例をしらべ、実際空間を感じ、将来には自分も設計に携わりたいたと思っています。

6-5. その他の質問、意見、相談などあれば自由に書いてください。

教会に行くのもお勧めします。キリスト教の教理のひとつが隣人を愛することなので、とても親切に対応してくれます。特に、アメリカは毎週バイブルスタディーもあるので、友達をつくる機会にもなると思います。

お疲れ様でした

国際教育センター海外留学支援室 2015.2作成版